

海員春闘 [中央交渉]

第2回 日本カーフェリー交渉委員会

令和8年度の第2回日本カーフェリー交渉委員会は、3月9日の13時40分から、海員組合本部地下大会議室で開催し、第1回交渉で仮合意した「有効期間」を除く組合要求について逐条審議を行った。

船団側は、組合要求の基本給について賃金改善の必要性は理解するも、物価高騰の影響からドック費用や船用費などが上がっていることに加え、原油価格の高騰を勘案すれば真摯に検討しているが、本日時点で具体的な回答を行うことは難しいとした。

これに対し組合側は、陸上諸産業を含め昨年以上に、賃上げに向けた機運が高まっており、他産業との人材確保競争の観点からも大幅な賃金改善は必要であるとし、原油価格についても一過性であると考えておりベースアップとは切り離すべきであると指摘し、前進した考え方を示すように求めた。

また、艀装員手当については、各社の考え方がまとまっておらず、本日時点では回答が難しいとした。そして宿泊料については、要求趣旨は理解するも、支給基準を超えた場合に実費支給しているの、文言は追加せず運用で十分ではないかとの回答を示した。

次回交渉は、3月16日に組合本部地下大会議室で開催することとして、第2回交渉を終えた。

「海員だより」